

夏秋どりいちご「すずあかね」のプランター栽培

～肥効調節型肥料を用いた安定多収高設栽培～

要約

肥効調節型肥料（エコロングトータル391）を定植時に基肥として全量を培地に混合する高設栽培により安定多収生産が可能となります。

研究成果の概要

1. 背景・目的

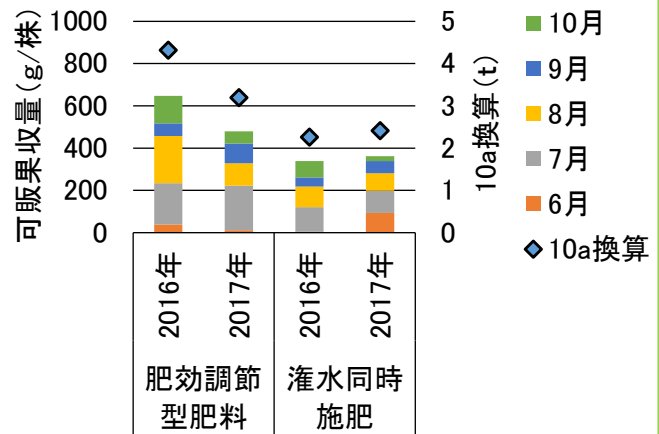
青森県の冷涼な気候を活かして夏秋期に生産されるいちごは、高収益作物の代表格である。これまで、高度な技術が必要で安定した生産の難点になっていた灌水同時施肥による肥培管理を、肥効調節型肥料を用いることで簡略化する高設栽培技術を確立する。

2. 内容

- 排水用の穴を開けた発泡スチロール箱に、いちご専用培地（チャコールモス等）を詰め、肥効調節型肥料を定植前に培地へ全量を混合し、苗を定植する。その後は点滴チューブで毎日灌水を行う。
- 肥効調節型肥料はエコロングトータル391の肥料溶出期間180日タイプを19g/株（窒素分量2.5g/株）施用する。
- その他の栽培管理は、「すずあかね」育成元のホクサン（株）栽培マニュアルに従う。

3. 活用等

これまで、夏秋どり高設栽培で肥培管理が上手くいっていない場合や、連作障害（土壌病害虫やハウスの塩類集積）などで土耕栽培から高設栽培に変更する場合に活用できる。



発泡スチロール箱へ



数か月の生育期間



専用培地を詰め



6月頃から収穫開始



肥料を混ぜて



夏秋期に安定した収穫



苗を植えつける

関連情報

- 「すずあかね」の苗は、農協・全農あおもりを経由して、ホクサン（株）から購入が可能。
- 「すずあかね」栽培マニュアルは、上記同様にホクサン（株）から提供。
- エコロングトータル391-180日タイプ・10kg入りは農協から購入が可能。
- いちご専用培地（チャコールモス）は、ヤンマーアグリジャパン（株）から購入が可能。